

■令和5年度第1回氷川町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議質問・意見一覧

	質問・意見	回答・説明
1	<p>(資料3-1:1ページ) 海外販路拡大事業について、吉野梨の輸出先は台湾、晩白柚は香港と言われているが、それ以外のマーケットに輸出されている農産物があれば教えていただきたい。</p>	<p>海外販路拡大事業については、梨の輸出先の台湾と晩白柚の輸出先の香港以外については、現在行っていない。</p>
2	<p>(資料3-1:2ページ) KPIについて、農家戸数に毎年変動がない一方で新規就農者数には毎年度数名の数値が計上されている。両者の整合を教えていただきたい。</p>	<p>農家戸数について、令和2年度と令和3年度は町が作成する農業振興事業報告書の数値を計上していたが、この数字は農林業センサスの数値がそのまま用いられており、実際の農家戸数とは乖離があることから、令和4年度の報告については各地区の農家組合長から報告いただいた農家数を計上した。これが658戸と偶然過去2年間と同じ数値になったものである。 新規農業就業者については、毎年県から照会があるのでその報告に合わせて数字を計上している。</p>
3	<p>(資料3-1:6ページ) KPIにおける地域及び大学などとの連携による学習支援活動の参加人数について、基準値180人と目標値1,080人に対する各年度実績の比較の仕方がどうなっているか。</p>	<p>平成29年と平成30年の参加人数の平均値180人を基準に、令和2年度から令和6年度まで毎年216人の参加者を見込み、5年間で1,080人との目標値を設定した。 各年度実績には本来累積の数字を上げるべきだったので、資料のほうを修正させていただきたい。</p>
4	<p>(資料3-1:8ページ) コミュニティ・スクール事業について、事業の成果課題に「各学校特色ある取組がなされている」と記載されているが、具体的な事例を1、2紹介いただきたい。</p>	<p>代表的なものとして、梨マラソン大会において東小学校児童とCS委員、保護者が応援ウチワを製作、地域の方へも配布した。また、竜北中学校の生徒は大会ボランティアとして給水場等で支援を行った。 三神宮の秋季大祭では、宮原小学校児童が子どもみこし、氷川中学校の生徒がポニー奉納をし、CS委員がその支援を行うなど、地域との交流や地域の伝統文化を学ぶ活動への支援は、各学校の特色であると言える。</p>

■令和5年度第1回氷川町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議質問・意見一覧

	質問・意見	回答・説明
5	<p>(資料3-1:10ページ) 立神峡公園イベントにおける事業成果・課題に「立神峡公園の新たな利活用への期待が高まっている」という記載があるが、立神峡公園の近年の利用状況を教えてください。</p>	<p>宿泊者数について把握しており、令和元年度は約7,300名、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により約4,500名、令和3年度はコロナ禍でのアウトドア志向から若干増加し5,150名ほど、令和4年度は長雨の影響でキャンセルが増え4,000名弱となっている。</p> <p>そのほか日帰りの来園者が増加傾向にあることから、今後はそちらでの集客も検討していく必要があると考えている。</p>
6	<p>(資料3-1:11ページ) 氷川ツーリズム事業の中に「不知火の木オーナー制度」とあるが、どのような制度なのか簡単に教えてください。</p>	<p>不知火とはみかんの品種の一つであるが、体験料を払って一本の木のオーナーとなり、夏の剪定や摘花作業、11月の袋掛け作業や1月の収穫体験が出来る制度となっている。</p> <p>氷川ツーリズムクラブへの委託事業として実施しており、一年を通した木の管理はツーリズムクラブに参加する生産者が行っている。</p>
7	<p>(資料3-1:12ページ) KPIについて、胃がん検診から特定健診受診率まで全て×の評価になっているが、その要因や対策を説明していただきたい。</p>	<p>要因としては、コロナ感染や感染拡大による受診控えによるものと考えられる。</p> <p>受診率向上の取組としては、特定健診において、令和5年度から医療機関等と連携したみなし検診の取組や朝の時間帯における予約制を導入。健活ポイント事業も合わせて実施しており効果が見られている。</p> <p>子宮がん検診及び乳がん検診においては、これまでの無料クーポン送付による受診勧奨に加え、令和5年度からQRコードやインターネットを使った申込みへの対応を進めている。</p> <p>また、未受診者の状況をAIで分析した受診勧奨通知の送付にも取り組む予定である。</p>
8	<p>(資料4-2:3ページ) KPIのうち、オフィス系職種の有効求人倍率の目標値と実績値が同じ数字なのはどういう理由か。</p>	<p>代表である八代市より、ハローワーク八代の管内における昨年4月から本年3月までの事務的職業の有効求人倍率について、令和3年度、令和4年度ともに同じ数字であったという報告を受けているところである。</p>

■ 令和5年度第1回氷川町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議質問・意見一覧

	質問・意見	回答・説明
9	<p>(資料4-2:6ページ) 令和5年において自転車用工具の設置によるサイクリング拠点の整備、誘客のためのイルミネーション設置と書いてあるが、具体的にどこを想定されているのか。</p>	<p>八代及び水俣芦北地域サイクルツーリズム推進協議会から配布されたサイクルスタンドを、立神峡公園、竜北公園、宮原振興局、道の駅に設置しており、これらの場所への案内看板と自転車用工具の整備を予定している。 イルミネーションについては、竜北公園内で夕方もしくは夜間に鑑賞できるようなところへの設置を予定している。</p>
10	<p>(資料6:4ページ) 令和5年度実施事業について、2次交通強化のための環境整備を行うと記載があるが、具体的な取組内容を教えていただきたい。 合わせて、立神峡へのアクセスも重要と考えるが、JR駅から自転車や自動車でのアクセスについてはどのような仕組みを考えておられるのか。</p>	<p>2次交通強化のための環境整備については事業全体にかかるものであり、新八代駅周辺への自転車やキャンプ用品のレンタル施設整備や、八代及び水俣芦北地域サイクルツーリズム推進協議会で設定されるサイクリングロードを活用した各施設の整備という中で、氷川町では、先ほど説明した施設への自転車工具の整備とイルミネーション設置を実施する予定となっている。</p>
11	<p>(質問10の関連意見) 2次交通強化への質問の趣旨は、交流人口の増加を図るため、いかに立神峡という素晴らしい資源に来ていただくかということ。TSMCの進出を見据えた住環境整備の話もあったが、台湾の方は体を使ったアウトドアや自転車も好まれると聞いている。自転車だけではなくレンタカーなども使ってこの立神峡に来ていただき、それをきっかけに氷川町のすばらしさを知ってもらい住宅施策につなげていくといった視点も必要だと思い質問した次第である。</p>	<p>県下ではTSMC効果でいろんな動きが起きている。 菊陽町にもインターができると聞いており1時間で十分移動できる距離。氷川町において企業誘致は難しいところであるが、住宅整備は出来ないか現在検討を進めているところである。</p>